

公表 令和4年8月31日（水）

事業所名 はびたむ（放課後等デイサービス）

		チェック項目	はい	どちらとも いえない	いいえ	意見	改善目標・工夫点 など
環境・ 体制整備	1	利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切であるか	7			・もう少し外部を遮断できるスペースを工夫していきたい ・クールダウンスペースを工夫していきたい ・身体を動かすスペースを工夫したい	基準に準じて活動スペースを確保して参ります。 整理整頓等を徹底し、危険のない範囲でプログラムに合わせて空間コーディネートを行えるよう努力します。
	2	職員の配置数は適切であるか	7			・配置基準は守られているが、日によって障害の程度が違う子どもがいるため、他害・自傷等の児童がいる時はもう少し手厚い人員配置が必要である。	配置基準を引き続き守りつつ、ばらつき等の無いよう工夫致します。
	3	事業所の設備等について、バリアフリー化の配慮が適切になされているか。	7			・障害に応じての使いづらい部分については工夫が必要。 ・入口に2段ほどの段差があり、十分に注意をしている。	使いにくい部分の精査をしようとして、お子様の特性に合わせた環境設定を行うよう工夫致します。
	4	業務改善を進めるためのPDCAサイクル（目標設定と振り返り）に、広く職員が参画しているか。	7			・毎日のミーティングや定例カンファレンスで振り返っている。	ミーティングで意見交換をし、業務改善に努めています。
業務改善	5	保護者等向け評価表を活用する等によりアンケート調査を実施して保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげているか。	7			・集計結果を共有している。 ・必要に応じてカンファレンスで話し合い改善に繋げている。	保護者様からの意見は共有し、必要に応じて業務改善につながるよう検討してまいります。
	6	この自己評価表の結果を、事業所の会報やホームページ等で公開しているか。	7			・ホームページで公開している。	保護者様のご意見や事業所自己評価の意見を踏まえ、改善に努めて参ります。
	7	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか。			7	・令和2年の実地指導以降第三者評価を受けていない。	第三者評価の機会を設け、業務改善に繋げてまいります。
	8	職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保しているか	7			・定期的に行っている。	毎月の定例カンファレンス時に、社内研修を計画し、職員の質の向上に努めています。
	9	アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成しているか	7				定期的な保護者様との面談や聞き取りを行ない、ケースカンファレンスにてアセスメントを行なってまいります。
適切な 支援の 提供	10	子どもの適応行動の状況を図るために、標準化されたアセスメントツールを使用しているか	7				アセスメントツールを用いてお子様の適応行動の状況を図ってまいります。
	11	活動プログラムの立案をチームで行っているか	7			・担当者が立案した後に、チームで意見交換・共有している。	半年に一度（必要に応じて3か月）担当者間でアセスメントを行い、計画を策定しております。
	12	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか	7				スタッフ間で支援計画を共有しております。 担当者間でのバランス等も考え、活動を引き続き工夫し、固定化しないように努めます。
	13	平日、休日、長期休暇に応じて、課題をきめ細やかに設定して支援しているか。	7				平日は、ご利用時間が短く、出来ることが限られてしましますが、休日・長期休暇に関しましてはプログラムを工夫し対応しています。
	14	子供の状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ放課後等デイサービス計画を作成しているか。	7				個別と集団を組み合わせ計画を作成しております。
	15	支援開始前には職員間で必ず打合せをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認しているか。	7			・毎朝、朝礼の中で確認している。	ミーティングにて確認し、共有しております。
	16	支援終了後には、職員間で必ず打合せをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか	7			・分からない事、不安な事は話す。 ・振り返りや気づいた点をなるべく共有したり伝えるようにしているが、伝えきれていない部分もある。 ・当日は送迎からの帰社時間にばらつきがあり時間の確保が難しい為、翌日のミーティングで振り返っている。	支援終了当日は、時間の確保が難しく翌日の朝のミーティングで、支援の振り返り・共有をさせて頂いております。

公表 令和4年8月31日(水)

事業所名 はびたむ(放課後等デイサービス)

		チェック項目	はい	どちらとも いえない	いいえ	意見	改善目標・工夫点 など
適切な支援の提供	17	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか	7				支援及び気付いた事は記録に残し、必要に応じて話し合いで検証改善に繋げて参ります。
	18	定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断しているか	7				定期的にモニタリングを行っています。また、他事業所からのモニタリングの機会に情報を共有させていただいております。
	19	ガイドラインの総則の基本活動を複数組み合わせさせて支援を行っているか	7				ガイドラインに対する理解を深めるための研修を計画し、ガイドラインに添った支援を行えるようにしていきます。
	20	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参画しているか	7			・児発管が担当者が参加している。	児童発達管理責任者を中心に参画しております。
保護者への説明責任等	21	学校との情報共有(年間計画・行事予定等の交換、子どもの下校時刻の確認等)、連絡調整(送迎時の対応、トラブル発生時の連絡)を適切に行っているか	7				学校から年間計画・行事予定をいただき、毎月下校予定時刻も確認し対応しております。
	22	医療的ケアが必要な子どもを受け入れる場合は、子どもの主治医等と連絡体制を整えているか				・医療的ケア児の受け入れは現在ない。	現在、医療的ケアが必要なお子様はいらっしゃいませんが、今後必要に応じて医療連携をまいります。
	23	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めているか	7				とくに新1年生に関しては就学前の通園・通所施設との連携を務めてまいります。
	24	学校を卒業し、放課後等デイサービス事業所から障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等しているか	7			・移行時の担当者会議等で情報提供を行なっている。	高校生も増えてまいりましたので、障害福祉サービスへ移行の際は支援内容等の情報提供をしていきます。
	25	児童発達支援センターや発達障害者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けているか	7				今後も引き続き連携体制を図っていき、じよげん・研修を受けていきます。
	26	放課後児童クラブや児童館との交流や、障害のない子どもと活動する機会があるか		4	3	・コロナ禍であり行っている回数が減少している。状況をみながらではあるが、交流等は積極的に行っていない。	コロナの感染者の状況や保護者様の意向に沿って今後検討いたします。
	27	(地域自立支援)協議会等へ積極的に参加しているか	7			・コロナ禍のこともあり積極的に参加出来ていない。	コロナ禍の情勢を見ながら参加していきます。
	28	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか	7			・送迎の際の会話、コミュニケーションを大事にしている。	お子様の成長を保護者様と共有し、課題についても共通理解を図ります。
	29	保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対してペアレント・トレーニング等の支援を行っているか	7				ペアレントトレーニングの研修に参加し知識を深めると共に保護者様に対応してまいります。
	30	運営規定、支援の内容、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか	7			・契約時に行っている。	ご契約時に説明させていただいております。
	31	保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っているか	7			・公認心理士による面談も始めている。	成長に合わせた支援方法やアドバイス、どの職員も相談に対ししっかりと対応できるよう努めます。必要に応じて公認心理士の面談により助言・支援を行なってまいります。
	32	父母の会の活動を支援したり、保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援しているか		1	6	・コロナ禍の関係もあり計画できていない。	コロナ禍の状況で制限もあると思いますが、保護者様の状況や、ニーズに合わせて検討してまいります。

公表 令和4年8月31日（水）

事業所名 はぴたむ（放課後等デイサービス）

	チェック項目	はい	どちらとも いえない	いいえ	意見	改善目標・工夫点 など
	33 子どもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか	7				苦情相談窓口を設けており、啓作の際に説明させて頂いております。苦情相談があった際には迅速に対応させて頂いております。
保護者への説明責任等	34 定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信しているか	7			・今年度よりはぴたむ通信を年4回発行します。	保護者面談や送迎時のお話しを通し、必要な情報を提供できるよう努めております。また、定期的に会報を発行していきます。
	35 個人情報の取扱いに十分注意しているか	7			・徹底している。	今後とも個人情報の取り扱いには細心の注意を払ってまいります。
	36 障害のある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか	7				送迎時にお話出来る時には、特に気になったことは重点的にお伝えし、場合によっては事業所内で漫談時間を設けております。
	37 事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を図っているか		3	4	・コロナ禍や個人情報のこともあり行っていない。	情勢を考慮し、衛生・感染対策等を徹底しつつ、地域活動の一環としてイベント等を検討していきたいです。
	38 緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアルを策定し、職員や保護者に周知しているか	4	3		・保護者様には契約時にお伝えしているが、変更時等定期的にお伝えする必要がある。 ・保護者には周知していないと思う。	定期的に会報等を通して保護者様にお伝えしていきます。
	39 非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか	7			・防災に関しては全曜日の児童が参加できるよう計画している。	今後、地震・台風・水害等の自然災害を想定した訓練も計画していきます。BCP委員会でも都度整理していきます。
	40 虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか	7			・内部研修を年2回行っている。また、機会があれば外部研修の参加もしている。	虐待防止、感染管理、事故防止等についての学習を引き続き計画的に実施し、職員の資質向上に取り組んでいます。
非常時等の対応	41 どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載しているか	7			・身体拘束に関しては、契約時にお話ししているが、現状身体拘束が必要な場面がない。	現在、身体拘束をしているお子様はいらっしゃいませんが、どうしても必要な場合は十分な説明と個別支援計画への反映、保護者様の了承を必ず得た上で行うこととなります。
	42 食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか	7			・医師からの指示を受けた保護者からの情報提供に基づき、対応している。	おやつを提供しているので細心の注意を払っております。必要に応じては医師と連携していきます。
	43 ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有しているか	7			・ヒヤリハットは必要時記載し共有しているが、小さなことでも報告し共有していくことが事故防止につながると思う。	事業所内で生じたヒヤリハット事例を供有し事故防止に努めております。